

世界史

I

解答

問1. 1—① 2—⑨ 3—④ 問2. ① 問3. ③
問4. ④ 問5. ④ 問6. ③ 問7. ② 問8. ①

解説

《古代ギリシア史》

問2. ②誤文。エーゲ文明では青銅器は用いられたが、鉄器は用いられなかった。ギリシアでは、文字史料が発見されていない暗黒時代の中で鉄器が普及していったと考えられている。

③誤文。ミケーネ文明の遺跡を発掘したのはシュリーマンである。エヴァンズはクレタ文明の中心地であるクノッソス宮殿を発掘した人物である。

④誤文。ミケーネ文明では線文字Bが用いられた。甲骨文字は、古代中国の殷で用いられた。

問3. ③誤文。「バルバロイ」と「ヘレネス」が逆である。ギリシア人が自らを、ヘレンの子孫という意味でヘレネスと呼び、同じ神々への信仰をもつ者と意識した。一方、理解できない言葉を話す者という意味で異民族をバルバロイと呼んだ。

問5. ①誤文。慣習法が十二表法として成文化されたのは、古代ローマにおいてである。

②誤文。平民の権利保護を目的に護民官が設置されたのは、①と同様に古代ローマにおいてである。

③誤文。アテネにおいて財産政治を行ったのは、ソロンである。

問6. ③誤文。アクティウムの海戦はペルシア戦争中の戦いではない。アクティウムの海戦は共和政末期のローマの時代に、オクタウィアヌスが政敵のアントニウス、プトレマイオス朝エジプトのクレオパトラ連合軍を破った海戦である。

問7. ①誤文。「万物は流転する」はヘラクレイトスの言葉である。

③誤文。『労働と日々』はヘシオドスの作品である。

④誤文。『アガメムノン』は悲劇詩人アイスキュロスの作品である。

II

解答

問1. 11—② 12—⑥ 13—⑨ 問2. ② 問3. ④

問4. ③ 問5. ③ 問6. ① 問7. ④ 問8. ①

解説

《16世紀のイスラーム世界》

問2. ①誤文。サラーフ＝アッディーンによって建てられたのは、アイユーブ朝である。

③誤文。マムルーク朝の君主は大アミールの称号を得ていない。アッバース朝カリフから大アミールの称号を得た王朝では、ブワイフ朝が有名である。

④誤文。ウマル＝ハイヤームはセルジューク朝期の詩人・学者である。

問3. ①誤文。バラ戦争は1455年から1485年にかけて起こった、イギリス王位をめぐる内乱である。時代は15世紀であり、誤り。

②誤文。クールベは19世紀フランスの写実主義画家である。

③誤文。ポーランド分割は3度行われたが、いずれも18世紀後半の出来事である。なお、第2回ポーランド分割には、オーストリアは参加していない。

問4. ③誤文。ティムール朝において、都サマルカンドに天文台を建設したのは、ウルグ＝ベクである。トゥグリル＝ベクはセルジューク朝の建国者である。

問6. メモ2が誤り。シーア派の最大宗派は、十二イマーム派である。サファヴィー朝の建国者イスマーイール1世は、シーア派の中でも穏健な十二イマーム派を採用した。ワッハーブ派は、18世紀にイブン＝アブドゥル＝ワッハーブが唱えたイスラームの原点回帰運動を支持する人々のことを言う。

問8. ②誤文。ムガル帝国において、アクバルが廃止した人頭税（ジズヤ）を復活させたのは、第6代ムガル皇帝のアウラングゼーブである。

③誤文。シク王国はアクバルの在位期間（1556～1605年）よりも後の1799年に成立した。よって、アクバルが「シク王国との戦争に勝利した」という記述は誤り。

④誤文。タージ＝マハルを造営したのは、第5代ムガル皇帝のシャー＝ジャハーンである。

Ⅲ

解答

問1. 21—① 22—⑧ 23—⑦ 問2. ② 問3. ④
問4. ③ 問5. ④ 問6. ② 問7. ① 問8. ③

解説

《環大西洋革命》

問2. メモ1が誤り。内容としては正しいが、環大西洋革命の事例ではない。アギナルドがフィリピン共和国を樹立したのは、1899年のことである。

問3. ①誤文。ロシアはアメリカ独立戦争に参戦していない。ロシアは武装中立同盟を提唱し、中立を維持しつつ植民地側を支援した。なお、当時のロシア皇帝はエカチェリーナ2世である。

②誤文。「四国同盟」が誤り。四国同盟はウィーン体制期に、イギリス、ロシア、オーストリア、プロイセンが結んだ、革命を防止しウィーン体制を守るための同盟である。アメリカ独立戦争の際に、イギリスの海上封鎖に対抗するため結成されたのは、武装中立同盟である。

③誤文。コシュートは、三月革命をきっかけに起きたハンガリーの民族運動の指導者である。アメリカ独立戦争に義勇兵として参加したポーランドの軍人はコシューシコ（コシチューシコ）である。

問6. ①誤文。ナントの王令は1598年、ユグノー戦争を終結させるため、フランス国王アンリ4世が発した勅令である。1685年、ルイ14世が廃止した。

③誤文。英仏協商は1904年にイギリスとフランスが結んだ、両国の海外勢力圏を相互承認する取り決めである。国民議会とは無関係である。

④誤文。ルイ＝ブランは、二月革命後に成立した第二共和政の臨時政府に入閣した社会主義者である。人権宣言を起草した人物としては、ラ＝ファイエットが代表的である。

問7. ①誤文。パリ＝コミューンは第二帝政崩壊後に成立した臨時政府によって弾圧された自治政府であり、国民公会が主導権を握っていた時代の出来事ではない。

問8. ①誤文。教皇とラテラノ条約を結んだのは、ムッソリーニである。

②誤文。アルジェリア遠征を行ったのは、シャルル 10 世である。

④誤文。「ドイツ連邦」が誤り。ナポレオン＝ボナパルトは、ライン同盟を結成させ、それをきっかけに神聖ローマ帝国は消滅した。ドイツ連邦は、ウィーン議定書で成立したオーストリアを盟主とする国家連合である。

IV

解答

問 1. 31—⑧ 32—④ 33—③ 問 2. ④ 問 3. ②

問 4. ① 問 5. ③ 問 6. ① 問 7. ④ 問 8. ②

解説

《北京の歴史》

問 2. ①誤文。「大韓民国」が誤り。朝鮮戦争の際に中華人民共和国は、朝鮮民主主義人民共和国を支援するために、人民義勇軍を派遣した。

②誤文。「ジンナー」が誤り。ジンナーは全インド＝ムスリム連盟の指導者で、パキスタンの初代総督である。周恩来はインド首相のネルーと会談し、平和五原則を発表した。

③誤文。「大躍進」政策を推進したのは、毛沢東である。鄧小平は 1978 年以降、改革開放政策を主導したことで知られる。

問 3. ①誤文。五銖銭は前漢の武帝が発行した貨幣であり、春秋・戦国時代のものではない。

③誤文。孟子は性善説を説いた。春秋・戦国時代の諸子百家で、性悪説を説いたのは孟子と同じ儒家の荀子である。

④誤文。無為自然を唱えたのは、道家である。墨家は兼愛・非攻を説いた。

問 5. ③誤文。金がつくった文字は女真文字である。満洲文字は後金（後の清）の建国者ヌルハチによって制定された。

問 6. ②誤文。地丁銀制は清代に制定された税制である。

③誤文。張居正を登用したのは、万曆帝である。

④誤文。『四庫全書』が編纂されたのは、清の乾隆帝の時代である。永楽帝は明の皇帝であるため、誤り。永楽帝は『四書大全』『五經大全』『永楽大典』を編纂させたことで知られる。

問 7. ①誤文。義和団が唱えたスローガンは「扶清滅洋」である。「中体西用」は、19 世紀後半の清で試みられた洋務運動に際して唱えられたスローガンである。

②誤文。洪秀全が指導したのは、太平天国である。

③誤文。戊戌の変法は1898年に行われた政治改革を指す。義和団戦争は1900～01年に起こっているため、誤りと判断できる。